

第6章 北 欧

ナショナリスト政党・右翼ポピュリスト政党の政治的影響力の増大

2010年代半ばの北欧各国での選挙において、ナショナリスト政党・右翼ポピュリスト政党の獲得議席数は、ノルウェーを除いて増加または横ばいであり、獲得議席数で第2党・第3党となっている。フィンランドでは2015年4月の選挙で「真のフィンランド人 (The Finns Party)」という政党が、得票数では第3党であったものの議席数で第2党となった。新政権には「真のフィンランド人」が初めて入閣し、党首は外務大臣を務めている。

スウェーデンでは2014年9月の選挙の結果により、社民党と環境党の少数連立政権という状況となり、同年12月に新政権が提出した予算案が否決される事態となった。それを受けて首相(社民党)が翌年3月に再びの選挙を行う意向を表明したが、スウェーデン民主党と左翼党を除いた野党4党と与党2党が2014年12月27日に「12月合意」を発表し、3月の選挙は回避された。この合意の内容は、首相選出、予算案、一部政策領域での与野党間の協力であり、少数与党の政権運営による政治的混乱の発生を防ぐことが目的であった。有効期間は2022年までとされている。スウェーデン民主党がキャスティング・ヴォートを握る立場となったことから、同党の国政への影響を軽減するために、このような合意が成立したといえる。

デンマークでは2015年6月の選挙で左派中道連立政権が敗北し、連立交渉が難航したことから第3党の自由党による少数単独政権が成立した。デンマーク国民党が議席数で第2党となったが、政権には参加せずに閣外協力の形をとり、デンマーク国民党の党首は、閣外では最大の要職となる議会の議長に就任した。新政権では移民・難民に対して厳しい政策が実施されるようになり、移民・難民の受け入れに批判的な態度をとるデンマーク国民党の影響がその要因の一つと考えられている。2015年2月にコペンハーゲン市内で銃撃テロ事件が発生するなど、現実に国民が不安を感じる出来事も起こっている。

ノルウェーでも、2013年9月に行われた選挙で2005年から続いていた左派中道連立政権が敗北し、同年10月に保守党と進歩党による右派連立政権が誕生した。移民に厳しい姿勢を示す進歩党は19名の閣僚中8名となっている。

このように、北欧諸国ではナショナリスト政党・右翼ポピュリスト政党は、政権参加、閣外協力、キャスティング・ヴォートを握る立場というさまざまな形で、各国の政治・政策にかなりの影響を及ぼすようになっている。

国際社会とのかかわり——多国籍軍, EU, 北欧防衛協力

国際社会における紛争に多国籍軍が対応する事例が増えている中で、2013年3月にデンマーク、ノルウェー、スウェーデンはリビアへの戦闘機の派遣を開始した。デンマークと

略年表(2013-16年)

年 月	事 項
2013年 6月	トロムソ（ノルウェー）に北極評議会（AC）事務局を開設。
10月	ノルウェーの国政選挙で左派中道連立政権が敗北し、保守党と進歩党による右派連立政権成立。
14年 9月	スウェーデンの国政選挙で右派中道連立政権が敗北し、社民党と環境党による少数左派政権が誕生（環境党は初の政権参加）。
10月	ノルウェー前首相のストルテンベルグが NATO 事務総長に就任。 ノルウェー議会が女性に徴兵制を課す新法を可決。
11月	デンマークがイラクに 7機の F16 戦闘機を派遣（2015年10月まで）。
15年 1月	ノルウェーが女性の徴兵制を導入（NATO 加盟国として初）。
2月	コペンハーゲン市内で表現の自由に関する討論会場およびシナゴグで銃撃テロ事件発生。
3月	アイスランド政府が EU 加盟交渉の停止を EU に伝達。
5月	フィンランドで 3 党による右派中道連立政権が成立し、「真のフィンランド人」が初めて入閣。
6月	デンマークで自由党単独政権が発足。デンマークへの難民数の低減を目的とした政策を実施。
9月	前デンマーク議会議長のリュッケトフトが国連総会の議長に就任（デンマーク人として初）。 トロムソに北極経済評議会（AEC）の事務局を開設。
12月	デンマークの国民投票で EU の司法・内務協力分野の留保撤廃を否決。
16年 4月	アイスランドで「パナマ文書」に関連した資産隠し疑惑を受けてグンロイグソン首相（進歩党）が辞任。
6月	デンマークがイラクおよびシリアに F16 戦闘機、輸送機、特殊部隊を派遣（同年12月まで）。
9月	スウェーデン政府が 2018年1月からの徴兵制の復活を発表（女性も対象）。

ノルウェーは積極的に空爆を実施したが、スウェーデンは飛行禁止空域の監視活動にのみ参加した。フィンランドは軍事活動に人員を派遣しなかった。デンマークは 2014 年から ISIL への対処としてイラクへ戦闘機を派遣し、2016 年からはシリアにも戦闘機、特殊部隊、輸送機を派遣した。国によって差はあるが、冷戦期と比較して多国籍軍の軍事活動への積極的参加が増えてきているといえる。

EU との関係では、デンマークは 2015 年 12 月 3 日に、EU の司法・内務協力分野に対

する留保の撤廃を問う国民投票を実施したが、結果は否決であった。2010年代に入ってからデンマークにおける国境管理の強化に対して EU が非難の姿勢を示すなど、デンマーク独自の政策には EU の方向性との違いが表れている。アイスランドは 2010 年から EU と加盟交渉を開始していたが、主要産業の漁業に対する EU の規制の影響を懸念し、2015 年 3 月にアイスランド政府が EU に交渉の停止を伝達するに至った。EU との良好な関係を継続することは前提であるものの、両国は状況により EU と距離を置く姿勢をみせることが多い。

2009 年に北欧諸国間で北欧防衛協力 (NORDEFKO) という軍事分野における協力体制が発足したが、バルト海などにおいてロシアの軍事行動が活発化していることから、北欧地域での防衛協力を深める方向に進んでいる。2015 年にはスウェーデンとフィンランド、スウェーデンとデンマークの間で軍事協定が締結された。また、冷戦後は削減傾向にあった軍の規模や防衛予算を増強する方向性も打ち出されている。2010 年に平時の徴兵制を廃止していたスウェーデンは政府が 2016 年 9 月に、2018 年 1 月から徴兵制を復活させることを発表した。自国軍をもたないアイスランド以外の北欧 4 カ国は、再びすべて徴兵制を実施する国となる。スウェーデンの新たな徴兵制は、2015 年 1 月から女性の徴兵制を導入しているノルウェーと同様に女性も対象である。

【五月女律子】

◆参考文献

- 外務省ウェブサイト「各国・地域情勢」(<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/>)。
- ハーレス、クリストファー「ロシアの挑発で国防強化する北欧諸国」『ニューズウィーク日本版』2015年3月5日、(<http://www.newsweekjapan.jp/stories/world/2015/03/post-3572.php>)、2017年3月26日閲覧。
- Dagens Nyheter*. (<http://www.dn.se>)
- Forsvaret (Norway), “Universal Conscription,” published 11 June 2015, last updated 28 June 2016, (<https://forsvaret.no/en/newsroom/news-stories/female-conscription>), accessed 19 March 2017.
- Milne, Richard, “Denmark to cut immigrant benefits in half,” *Financial Times*, 2 July 2015, (<https://www.ft.com/content/5fe8095c-1ffb-11e5-aa5a-398b2169cf79>), accessed 25 January 2017.
- Statistics Finland, “The Centre Party of Finland victorious in the Parliamentary elections 2015,” published 30 April 2015, (http://tilastokeskus.fi/til/evaa/2015/evaa_2015_2015-04-30_tie_001_en.html), accessed 26 January 2017.
- Svenska Dagbladet*. (<http://www.svd.se>).
- The Local*. (<https://www.thelocal.dk>).

◆図表の更新

表 6-3 ナショナリスト政党・右翼ポピュリスト政党の議会(国政レベル)での議席獲得

	選挙実施年・得票率・獲得議席数(議席数順位)
デンマーク(総議席数 179) デンマーク国民党 1995年結成	2015年6月 21.1% 37(第2党)
スウェーデン(総議席数 349) スウェーデン民主党 1988年結成	2014年9月 12.86% 49(第3党)
フィンランド(総議席数 200) 真のフィンランド人 1995年結成	2015年4月 17.7% 38(第2党)
ノルウェー(総議席数 169) 進歩党 1977年改称	2013年9月 16.3% 29(第3党)

[出典] Danmarks Statistik, “Folketingsvalg Torsdag 18. Juni 2015: Resultater – Hele landet,” last updated 20 June 2015, (<http://www.dst.dk/valg/Valg1487635/valgopg/valgopgHL.htm>); Kommunal- og moderniseringsdepartementet, “Landsoversikt – Stortingsvalget,” last updated 7 October 2013, (<https://www.regjeringen.no/html/kmd/valgresultat/2013/bs5.html>); Statistics Finland, “The Centre Party of Finland victorious in the Parliamentary elections 2015,” published 30 April 2015, (http://tilastokeskus.fi/til/evaa/2015/evaa_2015_2015-04-30_tie_001_en.html); Valmyndigheten, “Val till riksdagen – Röster,” 19 September 2014, (<http://www.val.se/val/val2014/slutresultat/R/rike/index.html>) (2017年1月25日閲覧) をもとに筆者作成。

表 6-4 DAC 加盟国の ODA の順位

		2016 年
デンマーク	ODA 実績	14 位 (2,372)
	対 GNI 比	4 位 (0.75)
スウェーデン	ODA 実績	7 位 (4,870)
	対 GNI 比	3 位 (0.94)
フィンランド	ODA 実績	18 位 (1,057)
	対 GNI 比	10 位 (0.44)
ノルウェー	ODA 実績	9 位 (4,352)
	対 GNI 比	1 位 (1.11)
アメリカ	ODA 実績	1 位 (33,589)
	対 GNI 比	22 位 (0.18)
日本	ODA 実績	4 位 (10,368)
	対 GNI 比	20 位 (0.20)

[注] カッコ内の単位は、ODA 実績：百万ドル，対 GNI 比：%

[出典] OECD, “Table 1: Net Official Development Assistance from DAC and Other Donors in 2016, Preliminary data for 2016 ,” 11 April 2017, (<http://www.oecd.org/dac/financing-sustainable-development/development-finance-data/ODA-2016-complete-data-tables.pdf>) (2017年4月16日閲覧) のデータより筆者作成。